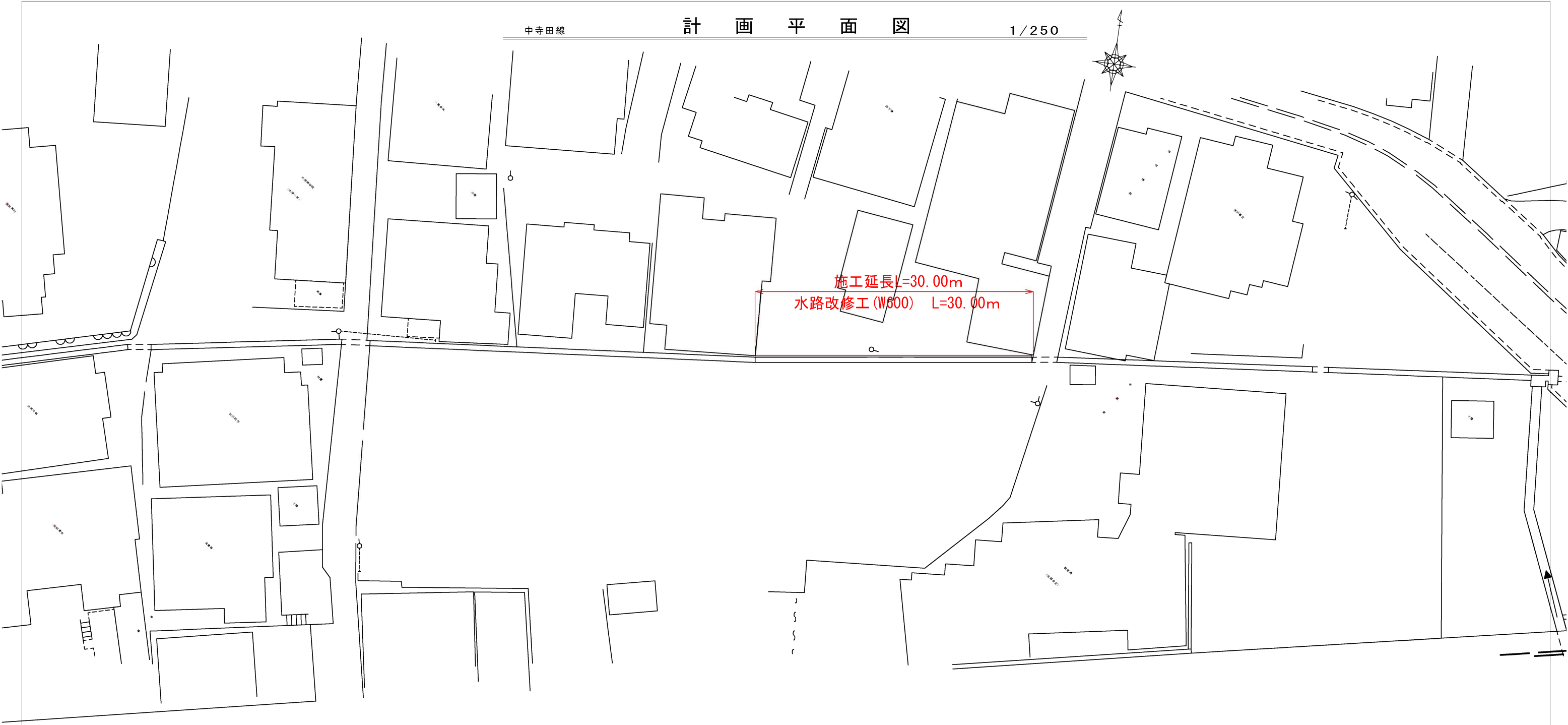


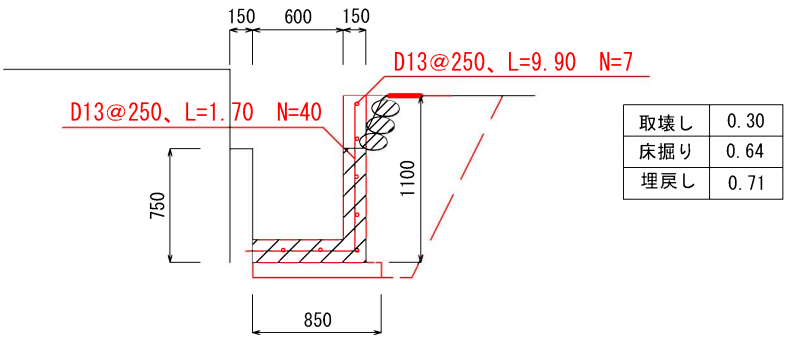
施工箇所位置図





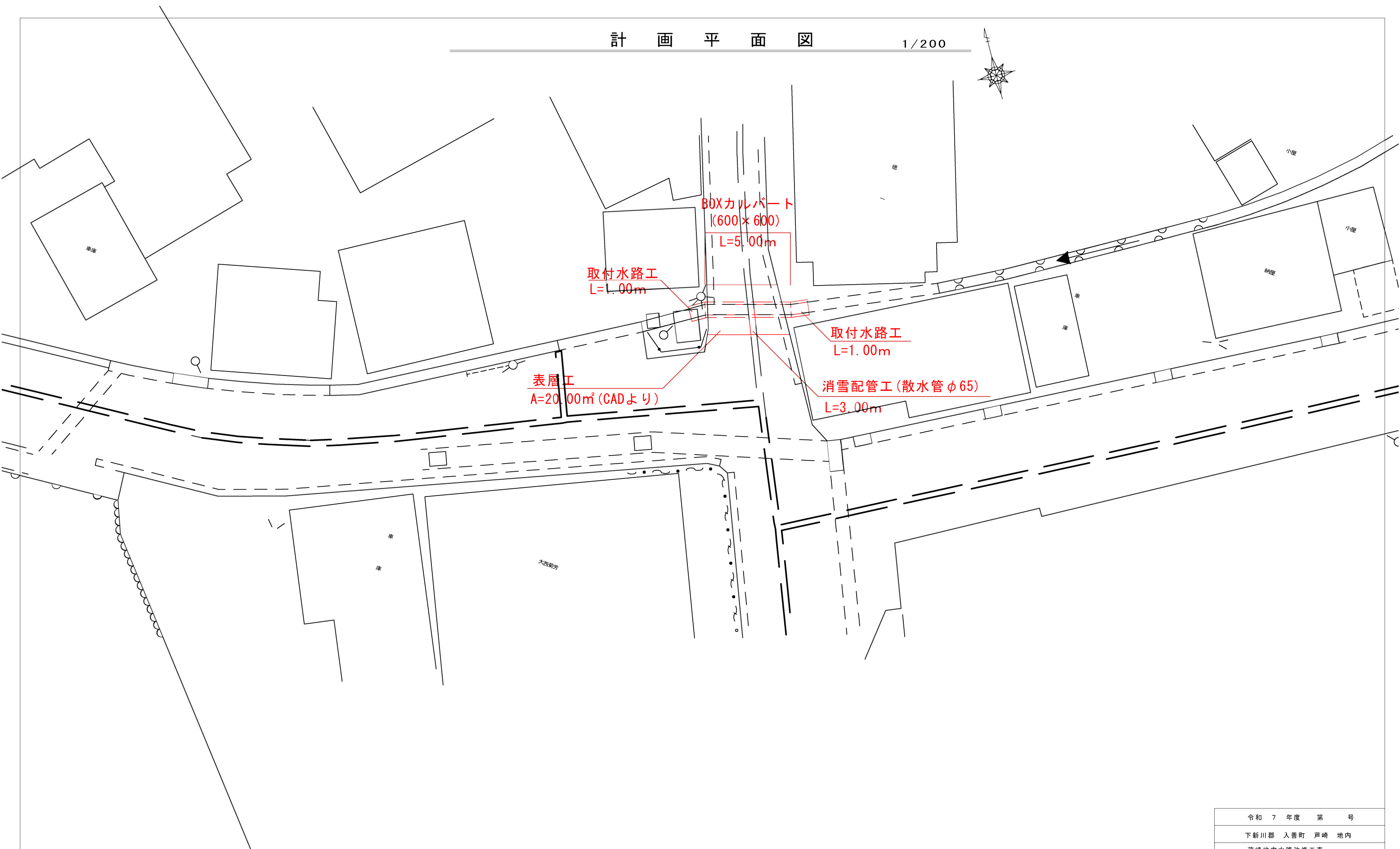
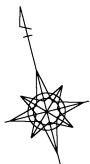
標準断面図

S=1:25 (A1)
S=1:50 (A3)



取壊し	0.30
床掘り	0.64
埋戻し	0.71

令和 7 年度 第 号	
下新川郡 入善町 芦崎 地内	
芦崎地内水路改修工事	
縮 尺	業 中 第 号
平成 年 月 日	製 作
富 山 県 入 善 町 役 場	



令和 7 年度 第 号	
下新川郡 入善町 芦崎 地内	
芦崎地内水路改修工事	
縮 尺	葉 中
	第 号
年 月 日 製作	
富 山 県 入 善 町 役 場	

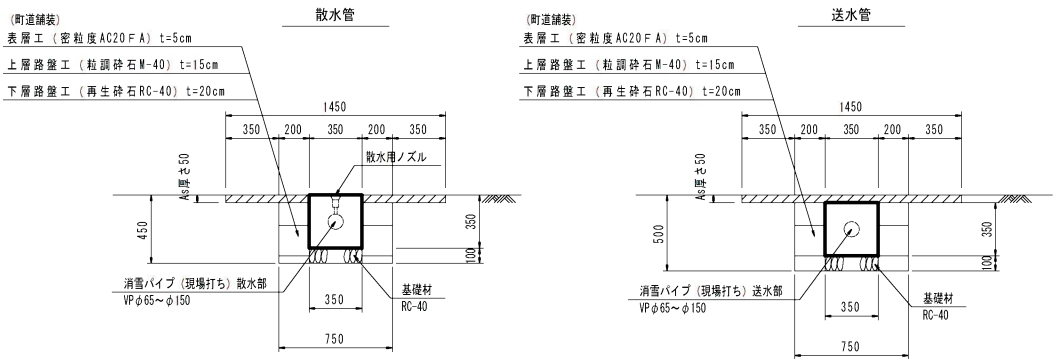
消雪パイプ（現場打ち）標準図

縮尺 S=1/25

設計条件	
設計軸荷重	50kN [車道]
衝撃係数	i = 0.4
コンクリートの強度	(30-8-25) σ_{ck} =30N/mm ²
コンクリート構造物の分類	小構造物 (I)
鉄筋の許容引張応力度	(SD295A) 180N/mm

コンクリート巻立工標準図

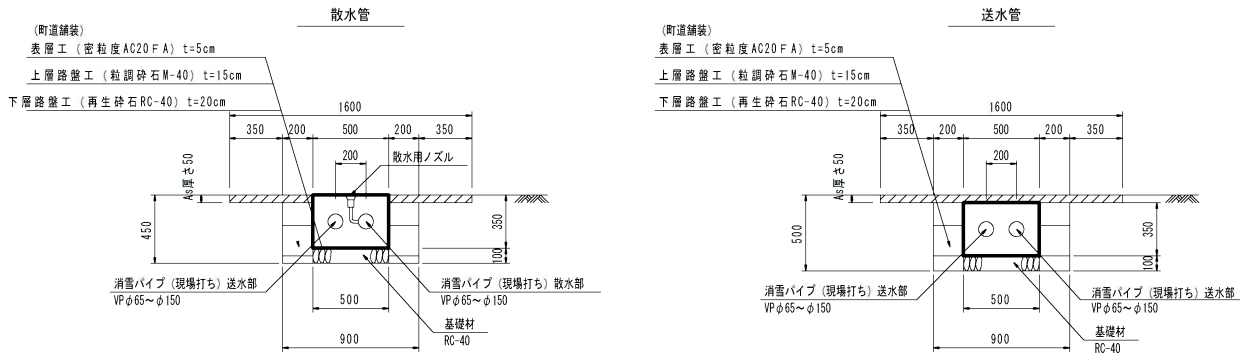
(VPφ65～φ150)



新設区間

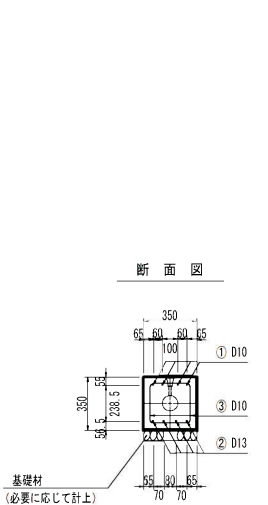
コンクリート巻立工標準図(ダブル管)

(VPφ65～φ150)

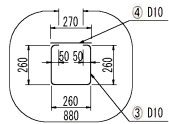


新設区間

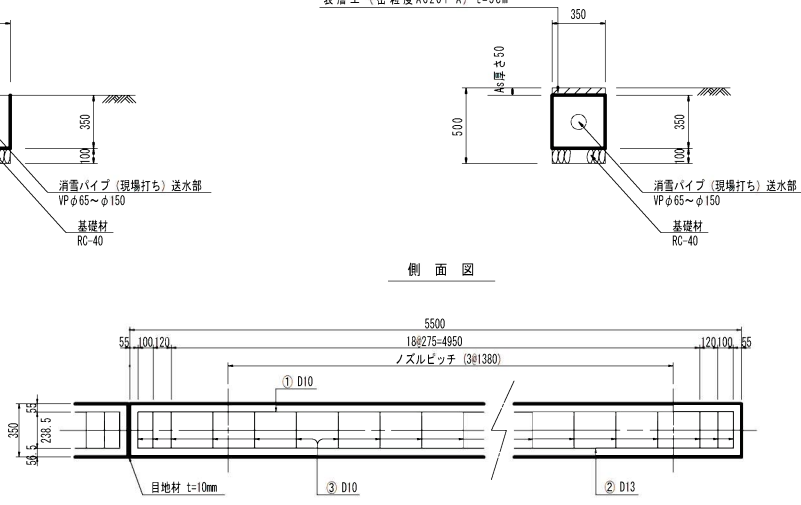
断面図



組立筋加工図



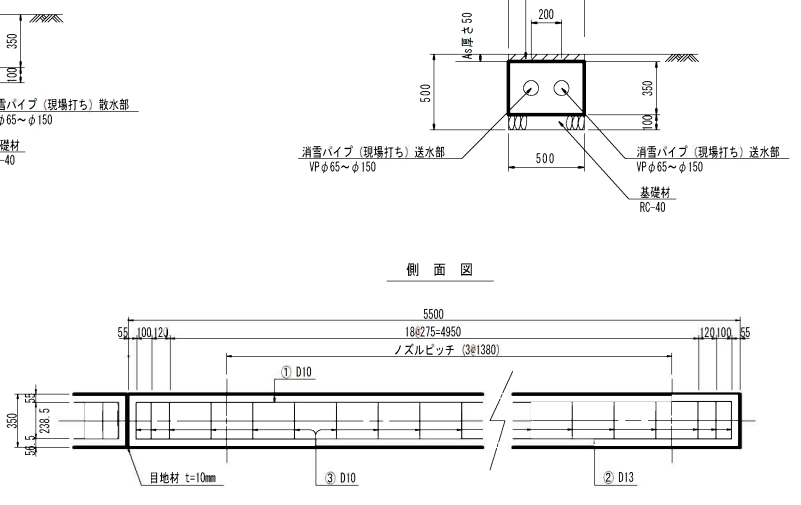
側面図



平面図



断面図



平面図



鉄筋表

番号	鉄筋	本数	長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	質量 (kg)	摘要
1	D 10	4	5,390	0.560	12.074	――
2	D 13	4	5,390	0.995	21.452	――
3	D 10	23	880	0.560	11.334	□
4	D 10	23	270	0.560	3.478	――
			D 13 以下 = 48.338kg			
※ 55.0m当り			D 13 以下 = 483.380kg			

(注) 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

コンクリート等数量表

	VPφ65	VPφ75	VPφ100	VPφ125	VPφ150	摘要
全体断面積 ①	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	0.35×0.35 m ²
パイプ断面積 ②	0.0045	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	πD ² /4 m ²
実断面積 ③	0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	①-② m ²
コンクリート体積 ④	0.649	0.640	0.618	0.589	0.556	③×5.50= m ³
※ 55.0m 当り	6.49	6.40	6.18	5.89	5.56	④×10 = m ³
※ 目地材	10ヶ所 (55.0m/5.50m)×0.123m ² =1.23m ² , t=10mm					
※ 路盤紙	0.35m × 55.0m = 19.25m ²					

(注) 1. 基礎クラシャーランを入れる場合は路盤紙を計上しない。
2. ※印 55.0m 当りの数量を示す。

鉄筋表

番号	鉄筋	本数	長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	質量 (kg)	摘要
1	D 10	6	5,390	0.560	18.110	――
2	D 13	6	5,390	0.995	32.178	――
3	D 10	23	980	0.560	12.622	□
4	D 10	23	370	0.560	4.766	――
			D 13 以下 = 67.676kg			
※ 55.0m当り			D 13 以下 = 676.760kg			

(注) 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

コンクリート等数量表

	VPφ125	VPφ125	VPφ125	VPφ125	摘要
	VPφ65	VPφ75	VPφ100	VPφ125	
全体断面積 ①	0.175	0.175	0.175	0.175	0.50×0.35 m ²
パイプ断面積 ②	0.0199	0.0216	0.0256	0.0308	πD ² /4 m ²
実断面積 ③	0.1551	0.1534	0.1494	0.1442	①-② m ²
コンクリート体積 ④	0.853	0.844	0.822	0.793	③×5.50= m ³
※ 55.0m 当り	8.53	8.44	8.22	7.93	④×10 = m ³
※ 目地材	10ヶ所 (55.0m/5.50m)×0.175m ² =1.75m ² , t=10mm				
※ 路盤紙	0.45m × 55.0m = 24.75m ²				

(注) 1. 基礎クラシャーランを入れる場合は路盤紙を計上しない。
2. ※印 55.0m 当りの数量を示す。

【適用範囲】

- 施工期間の短縮、施工条件を勘案し、使用する。
- ジョイント部は、「散水消雪施設設計施工維持管理マニュアル (散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会)」によるとともに、「せん断」に対する対策を行っているものを使用する。
- ノズル立ち上がり管の本管取り付け部の構造については、「ネジ込み式ソケット」と同等の強度があるものとする。
- 国道、県道、市道において設置から3年以上経過しても水漏れ等の異常が発生していないものとする。

【仕様】

- 管の材料は、樹脂管 (VP) を標準とし、管径は、VP65A～150Aとする。なお、伏越し部は、SGP管を使用する。
- 基礎材は再生砕石 (RC-40) を標準とし、施工にあたっては十分締め固めを行う。
- 基礎材の厚さは10cm程度とする。
- 地盤反力係数 $2 \times 10^4 \text{ kN/m}^3$ 以上の地盤に適用する (よく締め固められた砂混じり砂利)。

入審町 戸崎 地内

工事名	戸崎地区水路改修工事		
図面名	消雪パイプ（現場打ち）標準図		
作成年月日	令和 7 年	月	日
尺度	1:25	図面番号	
会社名			
事業者名	入 審 町		